

深南部 朝日山～中ノ尾根山～黒沢山～奈良代山縦走

2012年10月13日(土)～14日(日)

メンバー：磯部S

原生林が多い深南部のなかでもちょっとディープなコースを、一人二日間地図とコンパスを頼りに楽しむことができました。深い森の中で癒されながら・・・は、通り越し、とてもワイルドな世界で「探検隊隊長！」の気分を味わえました（孤独な夜はおどろおどろしいし・・・）。「ドキドキわくわく」を味わいたかったら、お勧めのコースです。

注意点 ①天候が悪いときは行かない・・・視界が狭くなり、周囲の地形が把握できず、読図力が落ちる。
②時間に余裕ある計画を立てる・・・焦りは判断ミスを招きます、必ずタイムロスはでてる。
③道標はほぼ無し・・・登山口さえはつきりせず、けものみち・廃道など多数。
④昔ほどではないがヤブ多し・・・ササ枯れが広範囲で進行し、ルートミスしなければ激ヤブは少ない。
⑤ササの中に隠れた倒木多し・・・多数の転倒は必至、少キズは覚悟し捻挫や顔（目）への傷に注意。

10月13日(土) 晴れ

今回は半周遊コースのため、まず下山口に自転車をロックしデポした後、登山口である白川権現ゲート手前の駐車場に向かう。
(自転車による移動距離は10数キロ。実は自転車のキーを車に忘れるという大ボケをかますが、神様のような登山者に送ってもらった。)



地形図上の朝日山登山口・一度見過ごす 他に数ルート有り



朝日山(1667m)頂上・展望無く、周囲はクマザサに囲まれる

けものみちに近い踏み跡をぎざぎざに登っていく。
途中からささやぶになるも、いくつか交差するすき間があり、登るぶんには細かいことは気にせず、ただ高みを目指す。
頂上が近くなり斜度が緩むと尾根ものっぺりとなるため、ピンポイントとしての目指す方向はわからない。
いつかは着くだろうが、ルートの取り方でタイムロスに差がでるだろう。もっともはるかにここの下りの方が難であるが。

頂上からのルート取りで一度間違い出直す。縦走となる尾根は広く、右に左に歩きやすいルートを探しながら進む。
倒木もだんだんと増えてくるから、乗り越えたりくぐったりたいへんだ。



ササ枯れが無かったら、たいへんだったろうな・・・



ずっと続く倒木の嵐・まだ見えるからいいけど・・

展望の無い平森山を越え、倒木はさらにひどくなる。
 白倉山が近くなると、ももあたりまでのささやぶとなり、視界も開けてきて気持ちがいい。
 ときどきササの中に隠れた倒木につまずきひころぶも、常にルート取りに集中しているため、痛さはさほど感じない。
 （家に帰った後、風呂でまるでゾンビのような自分の足を見てびっくりした。）
 予定したほど進まず、ビパークポイントを2013m 地点とする。ここは唯一快適な場所だった。



見た目はきれいだが、この下の隠れ倒木が行く手を阻む



2013mピーク地点 鈴とクマ避けスプレーをすぐそばに置く

10月14日（日） 晴れ

今日の行動予定からすると、暗いうちから歩きたかったが、ただでさえ不明瞭、隠れ倒木によるケガも恐く、明るくなってから出発。
 尾根も細くなり、じきに明るい三又山に到着。ここから深南部のいわば主稜線に乗る。ここで初めて少し年上の夫婦にあった。
 “二人の山旅”というしっかりしたHPを持っていて、その膨大な山行記録には驚いた。



南方の中ノ尾根山(2296M) 浜松市の最高峰



とても広い中ノ尾根山山頂 ジャンボテントだって張れる



中ノ尾根山から黒沢山方面 景色は最高 隠れ倒木最多



背丈ほどあるクマザサ かきわけかきわけ……

大きくのっぺりとした中ノ尾根山を過ぎると、深南部の代表的な景色であるササと立ち枯れの木の開放感のある風景が続く。
2214M地点手前のエスケープルートへのササに埋もれた分岐点は、そこを登ってこない限り発見することはかなり難しいと思う。



対岸は、昨日歩いた白倉尾根 見る分にはキレイ



縦横無尽なけものみち

黒沢山(2122m)も展望無く、傾斜のある頂上は背の低いササに覆われていて、ビバークポイントとしても適さない。
ここからシャウズ山までが今回の核心ルートだった。
長い下りとなり、しかも尾根が特に広く、後半は二重山稜のため、左右にルートがぶれやすくなる。
別の尾根に入ってしまうという危険性は少ないが、かかる時間は下手をすれば倍変わってくると思う。
ここで下山までの時間に余裕が無くあせれば、その日に帰れなくなる可能性は極めて高くなりそうだ。
暗い林のような尾根を蛇行しながら緩やかに登り、やっと明るく開けたシャウズ山(1835m)に着いたときは、心底ほっとした。
ここからは整備された普通の登山道だ。



数は少ないが、要所にはまず古いテープはある



テントサイトとして充分なシャウス山頂上

下草のほとんど無い明るい林の中の道を、気の抜けた体でどんどん下っていき、奈良代山林道に降り立つ。
 ここから林道を少し詰め、右の斜面を適当に登っていくと、狭く暗い、樹林帯の中の奈良代山(1624m)頂上にあつという間に着く。
 戸中川林道から登らないと感動はほとんど無い。
 林道に戻り、長い二日間の格闘が終わった。充実した山行であった。

<タイム>

13日 白倉ゲート(8:00)－朝日山(10:35-11:05)－平森山(12:40)－白倉山(14:00)－2013mBP(15:15)

14日 2013mBP(6:00)－三又山(7:00-7:15)－中ノ尾根山(7:50)－黒沢山(11:40)－シャウス山(13:50)－奈良代山(15:15)－林道(15:45)

以上